



立正大学

RISSHO University Alumni Association Since 2009

立正大学校友会報

No.36

たちばな

2018.1.1

◆ 発行／立正大学校友会 ◆

- P.02 平成29年度「校友の集い」ホームカミングデー in 橘花祭開催報告
- P.08 平成29年度HCD 橘花祭と同窓会開催のご報告
- P.09 同窓会支部・学部総会開催報告
- P.10 四国四県地域立正大学の集い・九州、沖縄、山口地域の集い開催報告
- P.11 立正大学同窓会定期総会 in 九州・熊本へのお誘い
- P.12 立正大学橘会就職報告会
- P.13 平成29年度橘会保護者懇談会開催報告
- P.15 BOOK&WORKS・INFORMATION

平成29年度

校友の集い

ホームカミングデー in 橘花祭を開催!!

校友会主催 校友の集い「ホームカミングデー in 橘花祭」を、平成29年11月4日（土）に開催いたしました。

本年度で5回目となる校友会主催の「ホームカミングデー in 橘花祭」は、品川キャンパスの5号館・7号館・9号館・学生広場で行われました。

当日は、本学名誉教授による講演や、立正マルシェと称し、大和ロイヤルホテルズ様など大学周辺企業参加による物販・展示・相談、橘花祭模擬店団体による模擬店の出店、各地域の同窓会主催による地方物産展

(模擬店)、東京中小企業家同友会南部協議会様によるフリーマーケットがあり、沢山の方々の来校がありました。また、来場者用キッズコーナーを今年度は橘花祭期間中の3日間設け、多くの方々にご利用をいただきました。今年度は、(株) ponte 様から日本赤十字社を通して、被災地に11,437円の寄付を頂き、大学同窓会から、当日の売上金115,340円を在校生の奨学金として、大学に寄付を頂きました。ご参加いただきました方々に御礼申し上げるとともに、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

平成29年度 立正大学校友会主催 「ホームカミングデー in 橘花祭」開催報告

- 開催期間：平成29年11月4日(土)
- 開催場所：品川キャンパス5・7・9号館、学生広場
- 入場者数：8,922名(橘花祭実行委員会調べ)
- 参加者数：1,203名



集合写真



集合写真



正門前



山手通り入り口



パレードの様子



パレードの様子



オープニング



オープニング



校友会本部



同窓会地方物産販売



同窓会地方物産販売



同窓会地方物産販売



東京中小企業家同友会南部協議会様



大和リゾート株式会社様



株式会社 Ponte 様



株式会社アットエフ様



日本酒プロジェクト



学生広場



法学部同窓会協力 法学部卒業生異業種交流会



教職センター・文学部同窓会・地球環境科学部同窓会協力 在職教員の先輩と話そうプロジェクト



教職センター・文学部同窓会・地球環境科学部同窓会協力 在職教員の先輩と話そうプロジェクト



キャリアサポートセンター協力 橋会就職報告会



キャリアサポートセンター協力 橋会就職報告会



品川入試センター協力 大学紹介 DVD 上映



品川入試センター協力 大学説明会



品川キャリアサポートセンター協力 OB・OGの先輩を囲む会



品川キャリアサポートセンター協力 OB・OGの先輩を囲む会



品川キャリアサポートセンター協力 OB・OGの先輩を囲む会



品川キャリアサポートセンター協力 OB・OGの先輩を囲む会



校友会協賛 法学部・法学研究所シンポジウム



校友会主催 講演会 立正大学名誉教授 原田 壽子氏



仏教学部同窓会協力 大学安置祖師像ご開帳



史料編纂課協力 立正大学の歴史展



史料編纂課協力 立正大学の歴史展



立笑(正)点



学術情報課協力 古書資料館見学ツアー



社会福祉学部同窓会協力 来場者用キッズスペース 外見



社会福祉学部同窓会協力 来場者用キッズスペース 室内



校友会主催 ホームカミングデー in 橘花祭懇親会 池上副会長による挨拶



校友会主催 ホームカミングデー in 橘花祭懇親会 乾杯の首頭をとる木村事務局長



校友会主催 ホームカミングデー in 橘花祭懇親会の様子



校友会主催 ホームカミングデー in 橘花祭懇親会の様子

第22回

平成29年度橘会奨励賞の募集を開始しました



橘会では学生を対象に、学術、文化、体育、慈善行為、その他広範囲の分野において活躍または努力をした個人、団体を表彰しています。自薦・他薦を問いませんので、奮ってご応募お待ちしております。

- ①応募資格：本学に在籍する学生（個人、団体どちらでも可）
- ②応募メ切：平成30年2月13日（火）消印有効
- ③応募方法：校友課、学事課、学生生活課、各学部事務室または校友会ホームページ（<http://alumni.rissho.jp>）で配布している応募書類に必要事項を記入し、参考資料（賞状等）を添えて校友課までお申込み下さい。

第22回
平成29年度
橘会
奨励賞
募集

橘会では学業に優れた、学術、文化、体育、慈善行為、その他広範囲の分野において活躍または努力をした個人、団体を表彰しております。自薦・他薦を問いませんので、奮ってご応募お待ちしております。募集要項は校友会ホームページまでご確認ください。

応募資格
①在籍学生
②学業に優れた者、学術、文化、体育、慈善行為、その他広範囲の分野において活躍または努力をした個人、団体

募集期間
平成29年10月1日（土）～平成30年2月13日（火）消印有効

募集場所
各学部事務室、校友会事務局

お問い合わせ
校友会事務局
TEL: 03-3489-6673

〒114-8602 東京都品川区4-1-16 TEL: 03-3489-6673

平成 29 年度

HCD in 橘花祭と同窓会開催のご報告

立正大学同窓会広報委員 高島 淳太郎

平成 29 年 11 月 4 日土曜日、立正大学品川キャンパスにて、ホームカミングデーが開催されました。

今回で 5 回目となりました大学祭（橘花祭）とあわせて開催するホームカミングデーには、卒業後、10 年、20 年、30 年、40 年、50 年の卒業生をお招きし、記念品の贈呈をいたしました。また、名誉教授講演会では、『これからの生活と健康寿命』と題し原田壽子名誉教授にご講演いただきました。この他、各学部同窓会に協力をいただき、大学安置祖師像ご開帳、在職教員と教職員を希望する現役学生・卒業生との懇談会、卒業生との異業種交流会、来場者用託児施設（キッズルーム）を運営いたしました。また、同窓会地方組織の協力をいただき、地方の特産品の販売を行いました。さらに、パネル展示による立正大学歴史展、古書資料館見学ツアー等が行われました。

そして、恒例となりました本学卒業生の落語家による落語会があり、会場は大きな笑いにつつまれておりました。

私は、中庭に設置された地方特産品の販売のお手伝いをさせていただいておりましたが、昨年もお買い上げいただきました常連のお客様やご来場の皆様に足を止めていただき、お陰をもちまして完

売となりました。ありがとうございます。

今回はステージでヒーローショー（宇宙戦隊キュウレンジャー）をやっておりました。そのためか、小さなお子様をお連れのお客様が多く見受けられました。

日も傾き始めた頃、第 2 食堂にて、懇親会がありました。学内のイベントを見て歩かれた皆様が懇親の場で談笑されておられました。

この懇親会の一角で「立正ブランドの日本酒を造ろう」プロジェクトによって製作されたお酒の試飲販売がありました。今年は 3 種類のお酒が並び、懇親会ご出席の方々が 3 種類のお酒を試飲の上、お買い求められておりました。

秋の一日、同窓生を含む多くのご来場者が大学祭、ホームカミングデーのイベントを通じて、交流する場となり、楽しい思い出となることを目指して、次回また品川キャンパスで開催しますので、ご協力、お願い致します。



同窓会支部・学部総会開催報告

【北海道支部】

- ◆ 8月26日(土)
- ◆ 札幌市 ホテルポール
スター札幌
- ◆ 講演会:「元氣アップ～ココロのサプリメント～」
塩谷隆治氏



【岩手県支部】

- ◆ 10月7日(土)
- ◆ 盛岡市 ホテルルイズ
- ◆ 講演会:「考古学とは
いかなる学問か-その方法と実践-」佐藤由紀男氏



【東京都支部・経済学部合同】

- ◆ 5月27日(土)
- ◆ 品川区 ゲートシティ大崎
ROUJI大崎
- ◆ ニノ宮同窓会名誉会長、
三澤副会長、大塚理事、森理事出席



【新潟県支部】

- ◆ 9月10日(日)
- ◆ 新発田市 白玉の湯 泉慶
- ◆ 寄席:振込亭尾車親方、二枚
目亭半寒、三味線:飯島真美
- ◆ 野坂同窓会会長出席



【富山県支部】

- ◆ 9月10日(日)
- ◆ 富山市 自遊館
- ◆ 研修会:富山県立美術館



【長野県支部】

- ◆ 10月21日(土)
- ◆ 長野市 ウェストプラザ長野



- ◆ 講演会:「八幡屋礒五郎の根元～創業230年、
信州の七味唐辛子を世界のSICHIMIへ～」
室賀豊氏

- ◆ 齊藤理事、竹藤校友課課長出席

【愛知県支部】

- ◆ 11月18日(土)
- ◆ 名古屋市 名鉄ニューグ
ランドホテル
- ◆ 寄席:古今亭志ん五氏
- ◆ 西岡総務委員長出席



【大阪府支部】

- ◆ 10月21日(土)
- ◆ 京都府にて野外研修会
- ◆ 京都鉄道博物館・嵐山・
太秦映画村等



【長崎県支部】

- ◆ 9月2日(土)
- ◆ 佐世保市 L&ホテルセンリュウ
- ◆ 講演会:「社会福祉に
ついて」深堀寛治氏



【熊本県支部】

- ◆ 8月26日(土)
- ◆ 熊本市 ニューオータニ
ホテルズ・ザ・ニュー
ホテル熊本
- ◆ 講演会:「災害予防のために『自助・近助・共助・
公助』」岡裕二氏
- ◆ 西岡総務委員長、加茂理事、竹藤校友課課長出席



【宮崎県支部】

- ◆ 11月25日(土)
- ◆ 宮崎市 ニューウェルシティ宮崎
- ◆ 西岡総務委員長、古田理事出席



【 沖縄県支部 】

- ◆ 10月14日(土)
- ◆ 那覇市 ダブルツリーbyヒルトン 那覇首里城
- ◆ 講演会:「場所愛(トポフィリア)から読み解く 沖縄の地理空間」崎浜靖氏



四国地域立正大学の集い

平成29年度立正大学同窓会・立正大学橘会共催「四国四県地域立正大学の集い」を開催しました

平成 29 年 9 月 9 日 (土) に松山市に
ありますホテルサンルート松山にて、平
成 29 年度立正大学同窓会・立正大学橘
会共催「四国地域立正大学の集い」を昨
年に続き開催しました。当日は立正大学
長 齊藤 昇氏、同窓会本部役員、橘会会
長、四国四県支部の方々、在校生ご父
母、多数の皆様にご出席頂き開催されま
した。同窓生と在校ご父母が一緒の懇親

会は地元就職についての情報交換の場と
なりました。



九州・沖縄・山口地域立正大学の集い

平成29年度立正大学同窓会・立正大学橘会共催「九州・沖縄・山口地域立正大学の集い」を開催しました

平成 29 年 9 月 10 日 (日) に福岡市
にありますホテルセンラーザ博多にて、平
成 29 年度立正大学同窓会・立正大学
橘会共催「九州・沖縄・山口地域立正大
学の集い」を開催しました。当日は立正
大学事務局長 木村 渡氏、同窓会本部役
員、橘会会長、九州各県・山口県支部
の方々、在校生ご父母、多数の皆様にご
出席頂き開催されました。九州地区で
開催される橘会との合同懇親会は初めて

で、同窓生と在校ご父母が地元就職につ
いての情報交換など有意義な懇親会とな
りました。



平成 30 年度

立正大学同窓会定期総会 in 九州・熊本へのお誘い

- ◆ 期 日：平成30年6月16日(土)～17日(日) ※6月17日(日):エクスカーション
- ◆ 場 所：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
〒860-8575 熊本市中央区東阿弥陀寺町2番地 ☎:096-354-2111 (代表)
- ◆ 主 催：立正大学校友会・立正大学同窓会
立正大学同窓会九州連合会(福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄、山口)

6月16日(土) 受付13:00～

第1部 立正大学校友会主催講演会(13:30～14:10)

【演題】「熊本震災の概要と自然災害への備え」

【講師】熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター
准教授 竹内 裕希子 氏



【学歴】1998年3月 立正大学文学部地理学科
卒業学士(地理学)

2000年3月 東京農工大学大学院農学研究科環境・
資源学専攻森林科学コース修士課程
修了 修士(農学)

2003年3月 立正大学大学院地球環境科学研究科
環境システム学専攻博士後期課程単位
取得満期退学

2005年3月 博士(理学)取得 立正大学

【経歴】2003年4月 独立行政法人 防災科学技術研究所
特別研究員

2006年4月 京都大学防災研究所 研究員

2008年4月 京都大学大学院地球環境学学 特定助教

2012年3月 京都大学学際融合教育研究推進センター
特定准教授

2014年3月 熊本大学大学院自然科学研究科 准教授

2016年4月 熊本大学大学院先端科学研究部(組織
名変更) 准教授

第2部 立正大学同窓会定期総会(14:15～15:20)

- 【内容】◆物故者追善・来賓挨拶
◆平成29年度事業・決算報告
◆平成30年度事業計画・予算報告
◆その他

第3部 ブロック別交流会(15:30～16:45)

- 【内容】◆総会に参加された会員が複数のグループに分かれます。
◆自己紹介や活動紹介で支部・会員相互の交流を図ります。
◆同窓会活動の現状や課題等について意見交換します。

第4部 同窓会交流懇親会(17:00～19:00)

- 【内容】◆県立鹿本農業高校郷土芸能
伝承部による優雅な「山鹿灯籠
踊り」が披露されます。
◆熊本の郷土料理をお楽しみに。



鹿本農業高校HPより

6月17日(日) エクスカーション：熊本城震災復興見学と阿蘇の恵みを見て食す旅

時 間	内 容
8:45～9:00	熊本城桜馬場の城郭苑内の観光案内所集合・受付
9:00～10:00	熊本震災で被害を受けた熊本城とその修復状況の見学
10:30～12:00	バスにて阿蘇南郷谷の南阿蘇村白川水源へ移動
12:00～12:45	清冽な水が湧く白川水源(環境省選定名水百選)の見学
12:45～13:00	バスにて道の駅くまのへ移動
13:00～14:00	豊かな南阿蘇の草原で育った「あか牛」専門レストランで自然豊かな阿蘇の大パノラマを見ながら昼食
14:00～14:45	バスにて阿蘇くまもと空港へ移動・空港利用者は下車
15:00～16:00	バスにて JR 熊本駅へ移動・JR 熊本駅利用者は下車



- ◆参加費：4,000円(バス・昼食・ガイド・保険代含む)
- ◆募集人数に達しない場合、当日の天候悪化が予測される場合、中止となる場合がございます。
- ◆エクスカーションのお申込つきましては、4月号同封の葉書にてお申込ください。
- ◆宿泊及び航空券手配につきましては、同封申込書にてお申込ください。
- ◆宿泊・航空券とエクスカーションのお申し込み期間が前後いたしますがご了承ください。

※最新の情報は校友会ホームページをご覧ください。

※また、その他お問い合わせは校友課まで TEL:03-3493-6673 FAX:03-3493-9068 E-mail:alu@ris.ac.jp

立正大学橘会就職報告会

立正大学橘会会長 田中 貞真



11月4日、爽やかな秋空の下で橘花祭が催される中、橘会では本年度新規事業として就職報告会を開催致しました。

橘会では毎年全国15会場の保護者懇談会にて「保護者のための就職講座」を開催し、キャリアサポート課の先生方のお話を伺ってまいりました。保護者として、我が子の生活状況は勿論、3、4年になれば就活状況が最も気になるところです。それは、今回の参加者約100名のうち、半分近くの保護者の皆様が各地区の保護者懇談会に出席されていたことから明白なことです。

今回の就職報告会は、本学キャリアカウンセラーの三原千草先生、就職が内定した石引翔一さん（経済学部4年）、コーディネーターとして熊谷キャリアサポート課の草川文博先生のもと進行されました。

今回の内容は主に次の通りでした。

◆**内定者の活動状況から採用スケジュールと活動の実態を知る。**

◆**キャリアカウンセリングの視点から、内定者と苦戦する学生との違いを知る。**

◆**「家族にできる支援」の重要性を知る。**

登壇者の石引翔一さん（経済学4年・住友不動産販売株内定）の就職活動は、興味のある金融・不動産関係会社10社のインターンシップに参加したそうです。そして、3年次の3月から不動産業界1本に絞り、長期間働くこと・自分の生き方・やりがいを重要視し就職先を決めました。

キャリアカウンセラーの三原千草先生がおっしゃるには、石引さんは就職活動の意識が最初から明確であったそうです。逆に就職活動自体の意味が解っていない学生は苦戦するそうです。

このように、就職活動にはインターンシップがいかに重要であるか、又、自分のやりたいことや、生き方を明確に持っていることが必要だと感じました。

さらに石引さんは、自分の就職活動を振り返り、インターンシップが始まる3年の11月の時点で選考が始まっている企業もあり、12月の時点で不採用になった例もあるそうで業界研究、企業研究をしっかりとっておいた方がいいとおっしゃっていました。

三原先生は、志望動機を考える上で、普段から学業や部活、サークル、アルバイト等、違ったステージで活動した事実を作っておくとより有利になるのではとおっしゃっていました。石引さんは学生時代学業の他に焼肉屋さんでアルバイトをし、そこで言葉遣いや目上の人に対する接し方を学んだようです。

「家族にできる支援」は、保護者懇談会の際に配布しています「保護者のための就活読本」が役に立つのではないかと思います。子どもへの心配が素直に伝わりにくいこの時期、我が子にかけ言葉すら思いつかない保護者の方もいるのではないのでしょうか。私もその1人です。こんな時、三原先生は「何か困っていることはない?」とさりげなく聞くといいですよと教えてくれました。これは絶対使えらと思います。

最後の質問時間で、「子どもが公務員を希望しているが?」に対し、草川先生の「公務員を希望することより先に、自分はどうのように働きたいかを考えることが大事だと思います。」というアドバイスが印象的でした。

以上、草川先生のコーディネートにより、和やかなかつ充実した就職報告会になりました。

このような就職報告会は毎年開催した方がいいと思います。できれば、キャリアサポートの先生方には、順調に就職活動を終えた学生ばかりではないと思いますので、現役学生や卒業生からも、就活における「悩み、つまづき、迷い等々」を聞ける機会を設けて頂きたいと思います。

保護者の皆様には今後とも橘会の活動にご理解ご協力の程宜しく申し上げます。

平成 29 年度

橘会保護者懇談会開催報告

平成 29 年 5 月より開催してまいりました、立正大学橘会保護者懇談会の全日程が終了いたしました。大変盛会の中、各会場とも無事に終了することが出来ました。ご参加いただきました保護者の皆様、ご協力いただきました大学関係者の皆様ありがとうございました。今回は、前号以降に開催されました保護者懇談会において、保護者の皆様より寄せられた声を、前号ではお載せできなかったものと合わせて掲載いたします。

長岡会場



- 日にち：平成29年5月27日（土）
- 会場：長岡グランドホテル
- 参加数：26人
駒田 優子（新潟県）

早いもので娘も4年生になり就職活動をしながら卒業までの残りの大学生活を日々楽しく過ごしています。

今回は4度目の立正大学保護者懇談会に参加させて頂きました。落ち着いた雰囲気のホテル会場での全体会では、教職員・役員紹介に始まり大学の近況を分かりやすく説明して頂きました。その後、「父母のための就職講座」では、熊谷キャリアサポート課長の草川様より、現在の就職状況や今後のスケジュール等お話がありました。就活生を持つ保護者として現在の就職状況に不安を抱いてましたが前向きなお話を聞く事ができ安堵感を覚えました。その後、就職内定をいただいた先輩方からの心あたたまる応援メッセージのビデオ映像を見させていただきました。学生達の本当の今の声を聞く事ができ保護者の立場として、大変勉強になりました。

会場では、初対面の保護者の方々と美味しいお菓子とコーヒーをいただきながらビデオの感想や情報交換をさせていただきあつという間の楽しい時間を過ごす事ができました。

その後、成績表をもとに個人面談がありました。わずかな時間でしたが普段は離れて生活している娘の様子を聞かせていただき、就職の件では「お母さんがリターンを希望するのでしたら本人に伝えてみましょうか」とアドバイスをしていただきました。大学での近況や新しい就職情報をわかりやすく説明して下さり、とても有意義な会となり参加する事ができ本当に良かったと思いました。

最後になりましたが、この様な懇談会を開催して下さった立正大学橘会の役員の皆様方、教職員の皆様方に感謝申し上げます。

さいたま会場



- 日にち：平成29年8月19日（土）
- 会場：パレスホテル大宮
- 参加数：76人
櫻井 美由紀（群馬県）

私は毎年懇談会には参加しておりますが、今回は品川キャンパスの方ではなく

さいたま会場に参加してみました。息子も3年生になりましたが本人からは就職活動の事やインターンシップなどしているのか何もわからなかったので今回、キャリアサポートセンターの方々にお話を聞けて少し不安がなくなりました。

就職講座では、企業はどんな人材を欲しがっているかという話の中で、大企業・中小企業に関わらず明るい子、話しかけやすい子、コミュニケーション能力・協調性・清潔感がある子というのが企業側から見たら印象が良いとおっしゃっていました。あと、学生自身が活動するにあたり自己アピールや服装、心がけている事など実際今活動している学生さんの声も聞けてとても参考になりました。それとテーブルごとですが意見交換が出来たことで知らなかった事など聞けてとても良かったです。キャリアサポートセンターの方の話によるとどんな子が内定をもらえるかという話では健康第一・規則正しい生活が出来て食事もきちんと取るという基本的な生活が送れていれば就職活動に結びつくと聞き、息子は一人暮らしをしておりますので普段の様子など見れない分、心配は多々ありますが見守っていきたいと思っております。今、他大学の友人や本校の他学部の友人、下級生の友人とバイトを通して仲間の協力や人の役に立てることなどにも目を向け世界を広げつつあります。これから社会に出ると試練にぶつかる事もあるので逃げずに解決して頂きたいです。

役員の皆様、懇談会の段取りやら御苦勞様でした。今回は大変お世話になりました、ありがとうございました。

松本 和美（茨城県）



昨年は1年生ということもあり学部がある品川キャンパスで開催された保護者懇談会に参加させていただきました。

今年は、8月19日（土）に開催されたさいたま会場へ参加させていただきました。駅から近いホテルが会場だったので、1人でも安心して参加することができました。

全体会では、教職員・役員紹介に始まり、橘高橘会副会長の親しみある御挨拶により和やかな雰囲気になりました。学長からのビデオレターでは、今後の立正大学の方針についての説明があり、生徒1人1人の個性をいかす人材育成のお話や立正理念がモラリスト×エキスパートであることを理解することが出来ました。

「父母のための就職講座」では、熊谷キャリアサポート草川課長から学生に求めること、「まずは心身が健康であること」

「自分で朝起きて準備ができること」あたりまえのように思えることですが、とても深い意味があることの説明から現在の就職状況や具体的なケースの紹介がありました。

そして今回は、初めて個人面談の申込みをしたので、面談を待つ間、参加された方から色々なお話を聞くことができました。

個人面談では、息子のゼミの先生からの資料が用意されていて、その内容を担当の石川先生が、分かりやすく説明してくださり、今後のサポートについても指導を受けることができたので、本当に良かったです。

橋会保護者懇談会は、親も勉強できる会だと思えますので次回も楽しみにしています。

職員の皆様、橋会役員関係者の皆様にご心より感謝いたします。

浜松会場



- 日にち：平成29年8月27日（日）
- 会場：TKP浜松アクタワー
カンファレンスセンター
- 参加数：20人
宮田 洋（静岡県）

8月27日に静岡県浜松市で開かれた保護者懇談会に、地元浜松から参加いたしました。

息子がお世話になり2年生となりましたが、都会暮らしを満喫しているようで、あまり実家に帰ってまいりません。たまに帰ってきて、話は部活やバイトのことばかりで、学業についてはあまり聞けずにおりました。

そこへ、このような機会があるとご通知をいただき、妻と期待半分、不安半分で出かけた次第です。

当日は、まず学長先生のビデオレターを拝見しまして、立正大学の目指すところ、今後の方針を丁寧にご説明いただきました。

続いて、就職担当の先生に「父母のための就職講座」を開催いただき、今時の就職事情を詳しくご紹介いただきました。

企業のリクレーターの皆さんのインタビュー映像を見せていただき、採用する企業の考え方や、どういった点を見て採用しているか等、数多くの事例を詳しく説明していただき大変参考になりました。我々の時代との様変わりを実感するとともに、親としての心構えが重要であると理解することができました。

そして最後に個別にお呼びいただき、先生との面談形式で、息子の成績や授業態度について丁寧にお教えいただきました。受持ちの先生に確認していただいたことをお聞きするにつけ、その丁寧さに感心いたしました。

聞けば、真面目に授業に出席し、単位もしっかり取得できているとのこと、息子が頑張っている姿が目に見え、ほっと安心いたしました。

このような機会は親として大変ありがたく、今後もぜひご継続いただきたいと思います。次回も参加させていただき

たいと思います。

最後に、運営、準備等にご尽力いただきました橋会、立正大学の皆様方に厚く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

千葉会場



- 日にち：平成29年9月3日（日）
- 会場：ホテルニューオータニ幕張
- 参加数：64人
布施 厚子（千葉県）

楽しみにしていた保護者懇談会に、友人と共に参加致しました。

今年の会場は円卓で広々と。田中会長の司会で、まずは全体会。学校からの出席者の方々の紹介にはじまり、今回は同窓会千葉県支部の方が4名来て下さいました。おそろいのオレンジ色のジャンパーに身をつつみ、県内各地で活躍されている姿を、たのもしく感じました。

全員で記念写真を撮ったあと「父母のための就職講座」が始まりました。DVDで就活をする学生達の声の聞き、採用担当者の要望を聞いて双方向で進めていく過程に興味深く拝見しました。その後キャリアサポートセンター部長の吉岡先生からのお話。色々な状況に、すばやく対応してくれる体制に心強いものがありました。

個人面談へと移り、受付時にいただいた担当の先生と順番が記入されたカードで、スムーズに。息子は企業内定をしており、卒業論文を書き上げるのみで、これからもがんばって!と先生からのメッセージを伝えてくれました。励まして下さった先生方のおかげと感謝しております。

アンケートを記入しながら、友人と美味しいスイーツをゆっくりと味わいました。今回で最後となるのが名残惜しい限りです。

振り返ってみれば、立正大学とは深い縁のある息子。父親の生地が匝瑳市飯高壇林のそばでした。杉木立の中になる「立正大学発祥の地」の碑を見て、はじめて覚えた大学名。オープンキャンパスで経済学部決めて入学。1年生時のベトナム研修旅行で東南アジアにひかれ、「日本語パートナーズ」事業でインドネシアにいき、沢山の友人を得ました。

朝ドラ「とと姉ちゃん」、映画「忍びの国」に出てきた飯高壇林に、ぜひ、おいで下さい。

福岡会場

- 日にち：平成29年9月10日（日）
- 会場：ホテルセントラザ
- 参加数：25人
河野 貴美（大分県）

9月10日、福岡市で開催された保護者懇談会に、初めて夫と共に2人で、参加させていただきました。

今年は息子が3年生となり、親世代の就職活動とは、様変わりをしている状況を、少しでも詳しく知りたいと思ひ、個人面談も希望しました。

個人面談の前の全体会では、父母のための就職講座が開かれ、キャリアサポートセンターの吉岡先生の丁寧なお話とともに、学生、企業面接官の方々が出ている動画を、拝見することができました。動画では、就活での学生達の取り組みの様子と、学生達が今、向かっている方向への生の声、各企業面接官の採用したい学生への傾向と少しでも良き人材を、迎え入れたいという企業の生の声、立正大学オリジナル動画は、とてもストレートに、わかりやすく伝わってきました。これは立正大学の学生に対する支える姿勢を感じ、親として、とても有難く思いました。

個人面談では、企業を決めるための情報の選択など、親の各質問に対して、懇切丁寧に対応していただきました。今の就職活動の状況を新聞、メディア以外で、大学からの情報も聞く事ができ、息子の就職活動に対し、親としての心構えを考えさせられる時間を、持つ事もできました。

最後になりましたが、このような貴重な機会を設けていただき、教職員、橘会の皆様、大変お世話になり、ありがとうございました。



藤田 麻子 (福岡県)

一昨年に参加させて頂き、昨年は熊本地震の為中止になったので、今回が2回目の参加となりました。最初は大学の懇談会って何だろうという興味からの参加でしたが、その際橘会より話があった立正大学学生健康保険互助会は、一人暮らしの息子が体調を崩した時に心強いものとなりました。

今回、父母のための就職講座の話初めて拝聴し、現在の就職状況、今後のスケジュール等資料を交えながらの説明をしていただき、自分達の時代との違いに驚きながらも、分かりやすく話をしていただいたので良かったです。特にDVDは学生と企業の生の声がとても共感できるものでした。キャリアサポートセンターを活用し、分からないことや不安なことなど相談に乗っていただきながら就職活動に取り組んでいってほしいと思いました。

今回、同窓会との合同懇親会も開催され、同窓生の方からは地元の就職に関してのお話をいただいたり、大学についての色々なお話をいただいたり終始なごやかなムードでした。後輩に当たる在校生の事を気にかけて下さり、立正大生のつながりの深さ、そして愛校

心などが感じられました。今の子供達にも、この同窓生の方々の気持ちを受け継いでいてもらいたいなと感じました。

小・中・高と違い、大学になると学校と保護者、そして保護者同士の関わりがなくなってしまう中で保護者懇談会、懇親会が行われるというのは安心のひとつです。このような機会を作ってくださる職員の皆様、橘会の皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

横浜会場



- 日にち：平成29年9月30日 (土)
- 会場：コンベンションルームAP
横浜駅西口
- 参加数：22人
池田 朱見 (神奈川県)

近年の就職活動は、私たち親世代とは様変わりしていると聞きますが、具体的な事や、立正大学ではどのようなサポート体制になっているのか等全くと言っていいほど理解しておらず、今回横浜会場での保護者懇談会は不安解消にもなるかと初めて参加させていただきました。

全体会に続き「父母のための就職講座」はキャリアサポート課長草川先生によるビデオを交えての講話でした。コーヒーとお菓子を出していただき和やかな雰囲気の中、業種別に企業が求める人材とは、納得の就職活動に向けてどう取り組むべきなのか等、細かく解説していただきました。又、質疑応答では幾つもの手が挙がりましたが、どれに対しても分かりやすく丁寧に説明いただきました。

さらに、立正大学には就職活動におけるサポートが多数あり、とても充実している事を知り親として大変心強く感じました。

又、その後に行われた個別面談では、担当いただいた先生の手元に置かれたタブレットに、相談内容に関する学内での状況が即座に情報提供され、より具体的なアドバイスがいただけました。親としてどの様に対応すべきかや、キャリアサポートセンターの利用の仕方等もユーモアを交えながら分かりやすく親身にお話して下さい、大変有意義な時間となりました。

そしてこれをきっかけに、親子で就活について話す機会が持て、娘がどう考えているか改めて知る事が出来たのも大きな収穫でした。

最後になりましたが、このような貴重な時間を設けていただき、先生方はじめ橘会役員の皆様に心より感謝申し上げます。



BOOK&WORKS



『ぜいたくなあさ』

白鳥 博康 (しらとり ひろやす)
(平成 23 年 文学研究科国文学専攻
博士後期課程修了)
絵 / もとやま まさこ

銀の鈴社
定価 3,000 円 + 税
お問合せ info@ginsuzu.com

◆ 白鳥 博康さんプロフィール

1983 年東京都生まれ。
大学院修了後、フランス遊学をへて、創作活動にはいる。
著書に『夏の日』(秋田県能代市教育委員会発行「家読ノート」中学生向けおすすめの本)『ゴムの木とクジラ』(ともに銀の鈴社)がある。

◆ 内容紹介

グラッパほどに
すきとおったシーツが
わたしを はなさない あさ (「ひるさがりのポモドーロ」より)
たゆたうのは幻想の迷宮。あまやかな色彩と、リベルテな感覚が連鎖する小品集、待望の第三弾。
【収録作品】
「ソルベのあおいつき」「たくさんのみずがながれて」「ひるさがりのポモドーロ」「おもいでのカラメリゼ」「パグットのあるくらし」「おわらないテルミドール」「みつのしずくのともしび」「ムーラン・ア・カフェ」
オールカラー 120 ページ/四六判型

INFORMATION

2017年度校友会費B (卒業生・現元教職員等会費)のご案内

昨年度は校友会費B(3,000円)に約2,545件・7,672,000円のご協力を賜りました。皆様のご協力で深く御礼申し上げます。

ご協力頂きました会費は校友会奨学金、入学記念品、卒業記念品、課外活動助成金等の在校生支援事業および卒業生交流会費用や会報等発送に関する校友会運営費に充当させていただきます。

まだお振込がお済みでない会員の方は、専用振込用紙にてゆうちょ銀行よりお振込くださいますようお願い申し上げます。

なお、2016年度より毎号、振込用紙を同封しております。校友会費Bは年会費ですので、4月号より翌年3月31日迄に1度、お振込いただきますと、その年の会費としてお預かりしております。振込用紙は毎回のように届きますが、皆様、一律にお送りしておりますので、ご了承下さい。

記入の際、下記青枠内において、本紙への氏名掲載を「許可する」。もしくは、「許可しない」ご希望をお伺いしております。どちらか片方に○をお付けの上、お申込みくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。



卒業記念品



入学記念品

02 東京		払込取扱票		通常払込科金 加入者負担	
00100001		417250		3000	
立正大学校友会		校友会費B		立正大学校友会	
会員番号:		学際学科または研究科名:		卒業年(修了年):	
[ご連絡先電話番号]		[ご希望の氏名掲載を許可する/許可しない]		[ご希望の氏名掲載を許可する/許可しない]	
振替払込請求書受取証		00100001		417250	
立正大学校友会		3000		3000	

校友会会員情報について

ご登録を頂いております、お名前・ご住所・電話番号・勤務先等にご変更および訂正がございましたら、下記までご連絡下さい。

変更届の内容

- ◆ 氏名 ◆ ご住所 ◆ 電話番号
- ◆ メールアドレス ◆ 勤務先または職業
- ◆ 校友会会員番号 (校友会報・学園新聞宛名ラベルの番号)

お問い合わせ・お届け先

立正大学学長室校友課
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
☎ 03(3493)6673 FAX:03(3493)9068
Email : alu@ris.ac.jp

専用用紙は立正大学校友会ホームページ (<http://alumni.rissho.jp/>) からダウンロードできます。

お知らせください

◆ 卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の活動に関する情報がございましたら上記お問い合わせまでご連絡ください。

教職員訃報【平成29年7月1日～平成29年12月1日】

- 元付属中学・高等学校国語科教諭
小野 寺 捷 氏 (平成29年7月21日 逝去)
- 元硬式野球部合宿所管理人
柴 崎 家 光 氏 (平成29年9月11日 逝去)
- 名誉教授
守 谷 良 二 氏 (平成29年9月29日 逝去)
- 非常勤講師
篠 原 敏 雄 氏 (平成29年11月9日 逝去)

謹んで哀悼の意を表します



発行者 立正大学校友会
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
発行人 齊藤 昇
編集 立正大学学長室校友課
電話 03-3493-6673
URL <http://alumni.rissho.jp/>